

## 産業横断 職務発明制度フォーラム開催案内

～見えてきた課題、我が国のイノベーションに  
寄与する知財管理の在り方考える～

2012年12月11日(火) 午後1時30分から、ニッショーホールにて日本知的財産協会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人日本経済団体連合会との共催による「産業横断 職務発明制度フォーラム」を開催します。

日本のイノベーション(特に、産業の発達)を支える国内発明の大多数は職務発明として企業内で成され、企業から特許出願されます。職務発明を適切に扱うことは、我が国の産業政策上極めて重要な課題です。

今日の発明創生・製品化・事業化プロセスは、発明者を含めた多くの従業者によるさまざまな貢献によって成り立っています。このような中、職務発明制度は、発明者と他の従業者の貢献のバランスを十分に反映しているとはいえないのではないかとこの意見が聞かれます。

また、国際的に、我が国の職務発明制度は特異であり、制度運用のための負担が重く、日本企業の競争力が削がれているのではないかとこの指摘があります。

さらに、同制度は2004年に改正されましたが、合理性の判断基準が明確でないために、訴訟リスクが依然として解消されていないのではないかとこの指摘もあります。

本フォーラムでは、企業の実情や有識者の意見を踏まえ、現行職務発明制度の課題を浮き彫りにします。その上で、我が国の企業のイノベーション促進や、国際競争力強化に寄与するという観点から、改めて職務発明制度について考えます。

### プログラム

日時：2012年12月11日(火) 午後1時30分～午後5時45分

会場：ニッショーホール

#### 第Ⅰ部 基調講演

【職務発明制度の基礎的課題】

飯田 秀郷氏(弁護士)

【職務発明制度はイノベーション促進に有効か】

長岡 貞男氏(一橋大学教授)

【日本の制度との比較における欧米諸国の職務発明制度】

竹中 俊子氏(ワシントン大学教授)

#### 第Ⅱ部 パネルディスカッション

最近の発明創生・製品化・事業化プロセスの変化やグローバル競争における企業リスク、職務発明制度の運用のための負担について各技術分野の企業担当者から企業の現状について述べてもらいます。それらを踏まえて、特に我が国の経済発展や企業のイノベーション促進、グローバル競争力強化に寄与しているかという観点から、職務発明制度の課題等について議論します。

〈コーディネーター〉 石川 浩氏(JIPA常務理事)

〈パネリスト〉

飯田 秀郷氏(弁護士)、長岡 貞男氏(一橋大学教授)、竹中 俊子氏(ワシントン大学教授)、柳川 範之氏(経済学者)、森田 拓氏(アステラス製薬)、鈴木 崇氏(日立製作所) 他

お問合せ先：日本知的財産協会 政策・広報 G

Tel：03-5205-3433 E-mail：forum@jpma.or.jp

申込み方法：本フォーラムには事前登録が必要です。下記URLよりお申込みください。

<http://www.jpma.or.jp>

申込み締切：11月30日 参加費：無料

注)定員(700名)になり次第締め切らせていただきます。